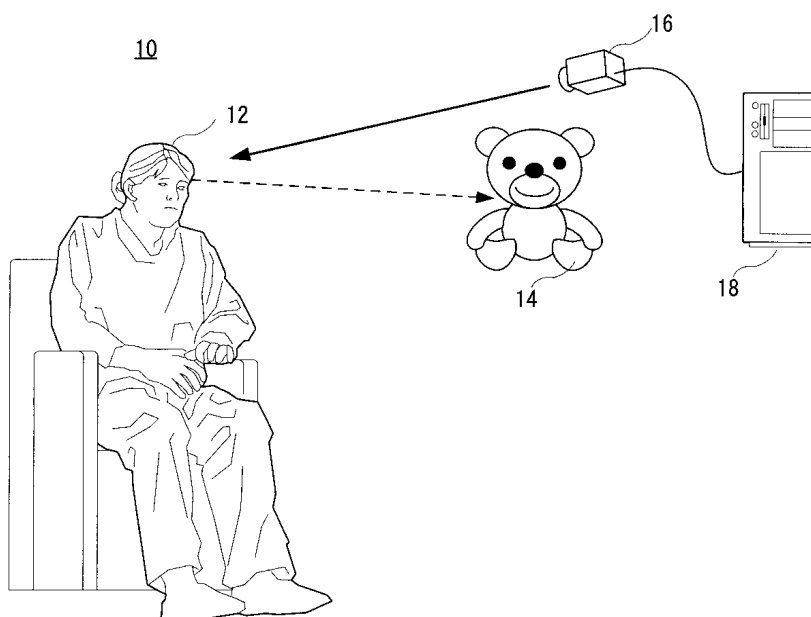


# 技術の名称 コミュニケーションを誘発するシステム

## 適用分野 軽度脳障害患者、認知症患者の癒し治療

- 目的 軽度脳障害患者、認知症患者からのコミュニケーションを積極的に引き出して癒しや治療に役立てる。
- 効果 本発明によれば、軽度脳障害患者、認知症患者の視線方向や発話状態に応じてぬいぐるみなどを動かしたりしゃべられたりして、軽度脳障害患者、認知症患者とのコミュニケーションを誘発してそれらの患者の治療を図ることができる。
- 技術概要 軽度脳障害患者、認知症患者12の視野内に置かれたぬいぐるみ14によって軽度脳障害患者等12とのコミュニケーションを誘発しようとするシステムであって、軽度脳障害患者等12の視線状態と発話状態とを判定し、それらの2つの状態からぬいぐるみ14の行わしめる動作と発話内容とを決定して軽度脳障害患者等12のぬいぐるみ14への関心を引き付けることによって、軽度脳障害患者等12とぬいぐるみ14とのコミュニケーションを誘発している。

### ■ 特記事項、図など



### ■ 主たる提供特許

特許等の名称 : コミュニケーション誘発システム

登録番号

出願番号 : 特願2007-278479

公開番号 :

出願日 : 平成19年10月26日

### ■ 実施実績

○有、 無

### ■ 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

### お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム  
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2  
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp